

教育課程上の名称		総合的な探究の時間					
学校において定める目標		探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。					
		(1)地域や社会で起こっていることがらを、因果関係や背景となっている事象を含めて俯瞰的に理解するとともに、批判精神を持って自分なりの課題を見いだすことができる。 (2)課題についての情報を集め、分析して、解決に向けての見通しを持つことができる。 (3)課題に対して、他者と協力し、多様な考えを取り入れながらよりよい解決像や納得解を求めることを通して、自己の在り方生き方を考えることができる。					
講座編成及び授業担当者		講座編成:①探究スキルの習得講座については、クラスまたは学年で展開 ②生徒が設定した課題についてはクラスを超えて同じ課題ごとにグループを編成し担当者を充てることも考慮する 担当者 :全職員					
設定時間				(火曜日、 6時限目)		単位数(1)	
時期月週日	探究課題	指導時数	探究の過程(時数)	学習活動(学習のねらい)	探究課題を通して育成を目指す資質・能力	主な言語活動	他教科等との関連
4月	オリエンテーション	2	年間の見通しを立てる(2)	・1年間を見通し、さらには3年後の進路を見据えながら、総合的な探究の時間の学習内容について知る。 ・自身の進路のイメージを持たせ、それを表現し、探究活動との連携を考える。	・課題を認識し、その論点を抽出する技術 ・自己の考えを整理し伝える能力	・ワークシートによる思考の整理	・公民(自分自身、人間としてのあり方、生き方、自立心、自律性)
5～6月	文化祭とは	7	文化祭の企画、運営(7)	6月に実施する文化祭(輝緑祭)に向け、以下の活動を行う。 ・輝緑祭の概要を知り、新入生としてどのように関わることができるか、考える。 ・輝緑祭において具体的に学級でどのような活動を行うか、過去の輝緑祭の企画内容なども調べながら情報収集し、級友と議論する。その際、地域に開かれた文化祭であること、輝緑祭終了後に地域探究に取り組むことを踏まえ、その観点からもどのようなことができるか検討する。 ・企画した内容について、どのようにすればそれが実現するのか、論点や課題を整理しながら、他者と協働しながら企画・運営する。 ・実施後はそれまでの活動をよく振り返り、次年度の輝緑祭の企画へ活かすことはもちろん、自身の探究活動にどのように活かすことができるか、考える。	・身の回りの環境を客観的に認識する能力 ・他者と協働する能力 ・課題を認識し、その論点を抽出する技術 ・自己の考えを整理し伝える能力	・ワークシートによる思考の整理、振り返り ・グループによる意見交換、交流	・公民(自分自身、人間としてのあり方、生き方、自立心、自律性) ・持続可能な社会へのアプローチ(地公、理科、保体、家庭)
7月	ICTの活用について知る	3	タブレットの活用方法の学習(3)	・本格的なプロジェクト探究の開始に先立ち、ICT機器を活用した情報収集や分析、プレゼンテーションの方法について、他者と協働しながら学ぶ。 ・その際に、ICT危機を活用する際の留意点、リスクについてもあわせて学ぶ。	・他者と協働する能力 ・課題を認識し、その論点を抽出する技術 ・ある課題についての論理的な思考力	・グループによる意見交換、交流	・持続可能な社会へのアプローチ(地公、理科、情報)
9月～2月	浅草街探索 異文化交流と発表	5	他者との対話 情報の整理・まとめ 発表・評価・振り返り(5)	・浅草街探索の実施に向けて、他者と協働しながら、外国人留学生を案内する計画を立てる。 ・計画に沿って探索し、留学生と英語を話しながら日本文化や異文化について学ぶ。 ・浅草街探索から学んだことをまとめ、発表する。	・自己の考えを整理し伝える能力 ・他者と協働する能力	・ワークシートによる思考の整理、振り返り ・グループによる意見交換、交流、発表	・公民(自分自身、人間としてのあり方、生き方、自立心、自律性) ・持続可能な社会へのアプローチ(地公、理科、保体、家庭) ・英語
	地域研究の手法「ミライ探究」に向けて	15	課題の認識 課題の追及 情報の収集・整理・まとめ 発表・評価・振り返り(15)	・次年度の「ミライ探究」に向け、つくばみらい市役所職員による講演を聞き、つくばみらい市の現状と課題を把握する。 ・地域研究の手法を知り、今後の探究活動に向けての準備をする。 ・つくばみらい市の現状と課題から、限られた時間の中で興味のある分野の施策を調べ、プレゼン資料を作成・発表するほか、翌年度の探究活動につなげるため、さらなる疑問点等を整理する。	・課題を認識し、その論点を抽出する技術 ・自己の考えを整理し伝える能力 ・他者と協働する能力 ・ある課題についての論理的な思考力 ・他者の視点、考え方を受け入れることができる資質 ・自己の活動を言語化する能力	・ワークシートによる思考の整理、振り返り ・情報の収集、整理 ・グループによる意見交換、交流 ・プレゼン資料の作成、発表	・公民(自分自身、人間としてのあり方、生き方、自立心、自律性) ・持続可能な社会へのアプローチ(地公、理科、保体、家庭)
3月	地域探究の深化	3	他者との対話 課題の認識(3)	・今学年で実施した地域探究について、活動を振り返り、反省点や改善点、翌年度にさらに取り組むべきことなどを、他者との協働のなかで整理し、計画する。	・他者の視点、考え方を受け入れることができる資質 ・自己の活動を言語化する能力 ・身の回りの環境を客観的に認識し、課題を設定する能力	・ワークシートによる思考の整理、振り返り ・グループによる意見交換、交流	・公民(自分自身、人間としてのあり方、生き方、自立心、自律性) ・持続可能な社会へのアプローチ(地公、理科、保体、家庭)
指導時間数の計		35					